

## 国立病院機構いわき病院

昨年 4 月に始まった当院の新築工事は順調に進んでおり、現在は張り巡らされていた足場も取り外されて国道 6 号線から白い外壁を間近に眺めることができるようになりました。予定通りに行けば 9 月一杯で建築工事は完了し、その後は MRI などの機器搬入や諸検査を経ていよいよ来年 2 月の開院を迎えることとなります。新病院でも神経難病患者の医療と重症心身障害児者の療育を診療機能の二本柱に据えておりますが、新たな試みとして療養介護病棟の一つで重症心身障害児者と神経難病患者を一緒に収容する計画を立てています。一旦在宅療養に移行できた人工呼吸器装着患者の中にも、介護者の状況などにより継続が困難となるケースが少なからず存在する現状を考慮し、その対策として療養介護病棟での受け入れを開始することとしました。これまであまりポジティブに捉えられてこなかった人工呼吸器装着患者の長期入院を見直すきっかけにしたいと考えております。また、神経難病患者の在宅療養を推進するために、神経難病患者を専門とした訪問看護ステーションを立ち上げる準備も進めております。

いわきでは地域の中核病院である磐城共立病院の新築工事も進んでおり、こちらは当院より一足早く今年 12 月のオープンを予定しています。またそれに合わせて病院名も「いわき市医療センター」と改称することとなっています。当院と共立病院は密接な連携を取っておりますが、神経内科領域ではどちらも人手不足が深刻です。いわき市は気候も温暖であり、首都圏へのアクセスも容易です。空間放射線量も低値ですので、ぜひ新たな同門会員が来ていただけることを心待ちにしております。

